

平成30年度

事業報告書
収支決算書



社会福祉法人 伊根町社会福祉協議会

平成 30 年度 伊根町社会福祉協議会 事業報告

総 括

自然災害が毎年のように発生し住民の生活を脅かすこととなっています。7 月にはゲリラ豪雨災害が発生し国道 178 号線は全面通行止めとなり、通勤通学への影響が出ました。9 月末には台風 24 号が発生し、要配慮者避難の対応と地域の状況を把握するために役職員において現地確認を行いました。

一昨年度より行っている伊根町災害ボランティアセンター設置運用訓練を朝妻地区で開催し、地域住民の参加を得て、災害時のセンターの役割を周知すると共に宮津市、京丹後市、与謝野町社協の職員に参加を呼びかけ広域的な連携を行いました。

各地域の居場所づくりとして「ふれあいサロン」「ふれあいカフェ」「男性サロン」を行い高齢者の閉じこもり予防と見守り活動を行い、支えられていた人が安心かつ役割を見いだせる居場所づくりを行うことにより支え手に変わる仕組みづくりとして、「我が事・丸ごと」の地域づくりを福祉関係者、ボランティアの方々とともに推進してきました。

ボランティア会員相互の親睦と信頼関係を深めるためにボランティア交流会を行い、地域福祉を支えるボランティア活動の推進を行いました。また、見守りボランティア活動の入り口として平成 6 年から行ってきた「ふれあい高齢者給食サービス事業」は、沢山の調理ボランティア、配食ボランティアの方々が関わり地域の高齢者宅へ温かいお弁当と愛情を届けてきましたが、ボランティアの減少で平成 30 年度をもって 25 年間の活動に幕を下ろすこととなりました。

高齢者や障害者の皆さんが安心して利用できる福祉サービスを推進していくために「耳のこと何でも相談」、「弁護士無料相談」を設け、住民の困りごとに対応してきました。外出支援体制として「福祉有償運送サービス」を行い、通院や買い物支援として利用いただいておりますが、利用者の減少と車両の維持管理の負担が大きくなっています。福祉サービス利用援助事業については、日常の金銭管理支援や福祉サービス利用に関わる援助だけでは解決できない利用者の生活課題に対し、専門員、生活支援員の研修会に参加し資質向上と福祉関係機関の連携を深めました。

介護保険事業、障害者福祉サービスについては、制度改正の影響や人材不足等と利用者の減少に伴い厳しい状況となっております。

伊根町老人福祉センター「泊泉苑」の指定管理事業では、伊根町特有の温泉を活用して頂くため玄関先に「温泉あります」の旗を設置し、地域の方々はもとより、町外の方の利用や温泉クラブの利用拡大と送迎を行い施設利用の向上に努めました。各事業の詳細につきましては、以下のとおりです。

1. 【法人運営】(三役会、理事会、監査会、評議員選任・解任委員会、評議員会)

法人運営の要として、正副会長の月例会議や理事会、監査会、評議員選任・解任委員会、評議員会を開催しました。

三役会	4月17日	5月16日	6月15日	7月18日	8月22日
	9月21日	10月11日	11月13日	12月21日	1月30日
	2月20日	3月6日			
理事会	5月30日	11月28日	3月13日		
監査会	5月23日	評議員選任・解任委員会		6月1日	
評議員会	6月15日	3月19日			



【外部監査】

平成 30 年 7 月 19 日	財政援助団体の監査(町監査委員、町会計管理者)
平成 31 年 2 月 6 日	丹後労働基準監督署実地調査

【視察受入】

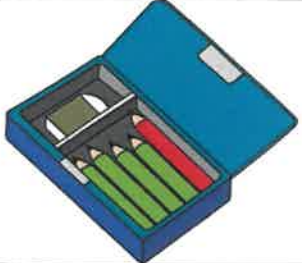
平成 30 年 8 月 21 日	井手町社会福祉協議会 役職員 23 名 高齢者の買い物支援と見守り活動について
平成 31 年 3 月 10 日	滋賀県大津市市役所伊香立支所 行政、社協役員 30 名 災害ボランティア運営訓練と地域福祉活動について

2.【地域福祉活動】

①保育所園児への卒園祝い品贈呈事業(共同募金配分金事業)

毎年 3 月、保育所卒園式のお祝いとして筆箱を贈呈いたしました。



伊根保育園 4 名	
本庄保育所 7 名	

②社会福祉体験学習

実施日	平成 30 年 7 月 31 日、8 月 1 日、2 日の合計 3 日間
参加学校	伊根中学校(8 名) 男子 3 名、女子 5 名
受入施設	伊根の里 1 名、伊根保育園 6 名、ホームヘルパー 1 名



③福祉協力校活動支援

学校名	取組内容
伊根中学校	町内の福祉施設より講師を依頼し高齢者や障害者の理解を深めました。 町内の一人暮らし高齢者へ敬老ハガキを送っていただきました。
伊根小学校 本庄小学校	特別養護老人ホーム長寿苑、おきなぎの家への訪問を行い高齢者の方と交流を行われました。キャラバンメイトさんに来ていただいて認知症の理解を深めました。 町内の一人暮らし高齢者へ敬老ハガキを送っていただきました。

④弁護士無料相談

昨今の生活問題について専門機関に相談し、地域の方が安心した生活が送れるよう、弁護士法人 たんご法律事務所と契約し、毎月第3火曜日に開催しました。

(相談期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日)

内容	相続	生活	仕事	家族	土地	金融	事故	合計
件数	3件	12件	0件	1件	4件	5件	2件	27件

⑤福祉有償運送サービス事業 (外出支援サービス)

実施日	平成30年6月26日、平成31年3月26日
参加者	会長、運転手5名、担当者
内容	介護認定の方や障害者手帳を持っておられる方、不意のケガにより公共交通機関のバス等を利用できない方を対象に、町内の診療所、宮津市、京丹後市、与謝野町の病院へ通院を主に、福祉有償運送サービスを実施しました。安全な送迎を行うために、運転手の打合せ会を2回開催。



福祉有償運行回数実績(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
町内	2	7.5	22	25	15.5	18	25	32	18	31	20.5	23	239.5
町外	30	20	7	4	5.5	1	5.5	8.5	5.5	8	4	1	100
合計	32	27.5	29	29	21	19	30.5	40.5	23.5	39	24.5	24	339.5

片道0.5回、往復1回としてカウント

⑥一人暮らし老人の集い(歳末たすけあい配分事業)

日時	平成30年11月29日(水) 伊根町老人福祉センター	
対象者	町内の一人暮らし高齢者 参加者34名 ※(本人確認にて同意を得た方)	
内容	<p>今回は、伊根町老人福祉センター「泊泉苑」で温泉を利用しながらの開催。</p> <p>「今を生きる私にとって 大切なことは」と題して 伊根町菅野 妙光寺住職「小野崎通彦」様に法話をいただきました。</p>	

⑦伊根町敬老会の共催

日 時	平成 30 年 9 月 19(水) 午前 10 時 45 分
場 所	伊根町ほっと館
対象者	昭和 19 年 12 月 31 日までの出生者 631 名が対象 (内:182 名参加)
記念品	伊根町長記念品 100 歳 1 名、88 歳 26 名 伊根町社会福祉協議会長記念品 20 名
演芸会	伊根保育園、本庄保育所の園児 歌謡ショー「渚ゆう子」、漫才「酒井くにお・とおる」



⑧福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)

京都府社協からの委託事業として、認知症の方や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方が、地域で安心して生活を送ることができるよう毎月生活支援員に金銭の支払い管理や福祉サービスの手続きを、地域包括支援センターや在宅介護支援センターと連携し支援活動を行いました。

また、日々の支援業務に対する支援員研修会へ参加と、専門員の 2 市 2 町会議にも参加いたしました。

項 目	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	合計
利用者、家族、関係 機関との相談回数	882 回	0 回	849 回	398 回	2,129 回
実利用者	6 名	0 名	3 名	1 名	10 名

登録支援員(男性 3 名、女性 1 名)

⑨耳のこと何でも相談の開催

耳の検査を受ける機会が無い方を対象に、耳に関する相談検査を行いました。




日 時	平成 31 年 2 月 13 日(火) 午前 10 時より午後 3 時
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
対象者	町内の耳に関する問題を抱えている方
検査員	舞鶴・与謝聴覚言語障害センター職員(言語聴覚士)
相談者	町内の高齢者 13 名



⑩歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として、歳末たすけあい募金活動を行い次のとおり福祉事業を開催しました。

項目	開催日	内 容	
事前検討委員会	平成30年 9月28日	行政担当者、民生児童委員協議会常務4名、社協理事5名、伊根町共同募金委員会2名により、事業内容を検討し利用者と事業の推進に意見交換しました。	
募金配分報告会	平成31年 2月6日	上記の検討委員会で協議された内容を、実績で確認し了承していただきました。今後の課題も提案されました。	
★募金総額 556,603 円 (内訳:世帯募金 376,711 円、事業所募金 179,892 円)			
募金をご理解いただいた事業所(敬称略) おのえ(株)、(株)セレモニーまつだ、丹後海陸交通(株)、(株)油屋、丸谷建設(株)、(株)沢田電気、向井酒造(株)、千原建築(株)、伊根浦漁業(株)、(株)よざ電工伊根営業所、北都信用金庫伊根支店、宮津地方森林組合、(有)新井崎水産、蒲入水産(有)、(有)奥野興業、共栄商会、上山商会			
事業名(対象者)	利用数	内 容	様 子
年末大掃除お助け隊 (70歳以上の高齢者世帯)	13件	高齢者だけでは手の届かない所や、一人では掃除が出来ない場所を支援するために、利用していただきました。	
年末障子貼りサービス (70歳以上の高齢者世帯)	16件	気持ちよく新しい年を迎えるために、障子を張り替える作業の支援を行いました。	
重度要介護者支援サービス ①要介護認定3・4・5を受けている方 ②障害者手帳1種1級・2級の方	23件	常に布団の上で生活を送っている方に年末年始を気持ちよく快適に過ごしていただくため、介護用品をお届けしました。 ①パジャマ、②肌着、③防水シーツの中から1つ選択	
寝具丸洗いサービス ①要介護認定を受けた方 ②障害者手帳1種1級・2級の方 ③70歳以上の高齢者世帯	56枚	布団の上で生活を送っている方の布団を、雑菌・尿素・脂肪・カビ等を除去し、少しでも快適な生活を過ごしてもらうため行いました。	

歳末買い物サービス (70歳以上の高齢者世帯)	1名	年末年始に必要な生活用品等の購入の支援として送迎サービスを行いました。(宮津・与謝管内のスーパー及びホームセンター)	
一人暮らし高齢者 年賀状訪問	125名	町内の小・中学生に協力してもらい年賀状の友愛訪問を行いました。	
サンタクロース友愛訪問		保育園へボランティアさんがサンタクロースに扮して訪問。絵本や園児全員で楽しめる遊具をプレゼントいたしました。	
伊根の里への支援		伊根の里(障害者通所施設)に通っている方への支援を行いました。	

⑪高齢者見守りネットワーク企業連絡会の情報交換と企業連携

⑫温泉クラブ無料送迎事業

期 間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	町内の高齢者の皆さんに、温泉活用で健康増進を図ってもらうため、自分たちでグループを作り利用していただくと共に利用回数の増加に努めました。

温泉クラブの利用状況は以下のとおりです。

月	回数	人数	月	回数	人数	月	回数	人数
4月	6回	37名	8月	4回	25名	12月	6回	41名
5月	5回	32名	9月	3回	17名	1月	5回	36名
6月	6回	38名	10月	4回	25名	2月	5回	32名
7月	6回	40名	11月	5回	34名	3月	4回	24名
利用合計 59回						総利用数 381名		

うぐいす温泉クラブ	かもめ温泉クラブ	本庄上・宇治温泉クラブ	本庄浜温泉クラブ
※買い物支援はJA コープ、にしがき等 40回			

⑬地域福祉活動計画

地域福祉活動計画について、京都府社協と連携し検討会議を行いました。
実施回数2回(10月4日、11月20日)



3.【ボランティア活動】

①ふれあい型高齢者給食サービス(平成6年度から平成30年度 25年間)

平成6年度よりボランティア活動と見守り活動の両方が出来ることから、一人暮らし老人給食サービスがスタートしました。当初は一人暮らし高齢者だけでしたが、平成8年より70歳以上の高齢者世帯も加わり、第2第4木曜日の昼食用に届けてきました。

お弁当をもって訪問した先が留守の場合の見守り安否確認に効果が出ていますが、お弁当を作っていたボランティアが3グループと少なくなり、今後の実施が厳しいため平成30年度をもって終了することになりました。

実施日	給食グループ	利用数	実施日	給食グループ	利用数
5月10日	ひまわり(朝妻)	54食	11月22日	水仙(蒲入)	57食
5月24日	花水木(本庄浜・上)	53食	12月13日	花水木(本庄浜・上)	54食
6月14日	水仙(蒲入)	54食	12月26日	さざんか	55食
6月28日	ひまわり(朝妻)	51食	2月28日	ひまわり(朝妻)	52食
10月11日	水仙(蒲入)	52食	3月14日	水仙(蒲入)	53食
10月25日	花水木(本庄浜・上)	53食	3月28日	花水木(本庄浜・上)	52食
11月8日	ひまわり(朝妻)	55食	実施回数13回 1食500円		695食



(給食ボランティアリーダー会議)

実施日	平成30年4月5日、9月4日、10月1日、12月17日 延べ32名
場所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内容	現在3グループの給食サービスチームの方々と、毎月の順番やお弁当の内容について協議しました。

(給食ボランティア研修会)

実施日	平成30年9月6日(木) 場所:京都府社会福祉協議会
内容	本年度で最後の給食サービス活動を終えた後のボランティア活動の今後の考え方について研修しました。
参加者	給食ボランティア、会長、職員 合計23名



(配食ボランティアの活動)

お弁当が出来上がると、配食サービスのボランティアにより、町内の一人暮らし高齢者や、高齢者世帯のお宅に、安心見守り活動として届けてもらいました。

(地区別の配食ボランティア登録数)

伊根地区	朝妻地区	本庄地区	筒川地区	合計
8名	13名	6名	8名	35名



②ふれあいカフェの開催

実施回数	8回、延べ137名参加
場所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内容	伊根町老人福祉センターに利用される方を対象にコーヒーやお茶を飲みながらホッとした時間と年齢に関係なく交流をすることを目的に開催しました。



③ふれあいサロン活動

身近な地域の公民館などを会場に、参加者とボランティアと一緒に企画し、運営していく楽しい仲間づくりの活動を行っています。サロンスタッフの定例会で、毎回行うサロンのメニューについての打ち合わせや、行政から音楽療法士や転倒予防について指導者を派遣していただきました。

サロン会場	開催数	延参加数	サロン会場	開催数	延参加数
日出地区公民館	10回	111人	野室集会所	9回	54人
新井崎集会所	10回	73人	長延地区公民館	10回	85人
泊地区公民館	9回	53人	蒲入集会所	10回	114人
宇治地区公民館	10回	70人	筒川上地区公民館	8回	60人



(ふれあいサロンスタッフ打合せ会)

実施日	毎月第2火曜日 8回開催 延べ81名のスタッフが打合せ
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	毎月各地域で開催しているサロン活動の内容についてお互い相談し、時には、包括支援センターの職員さんも同席しそれぞれの地域の活動を周知していただきました。

④男性サロンの開催

実施日	毎月第3木曜日 10回開催 延べ79名参加
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	今年度より高齢者世帯の男性(75歳以上)の方にも参加していただくこととして、毎月第3木曜日に開催し音楽を取り入れた体操、フラワーアレンジメント、皆で昼ごはんづくりに取り組みお互いの交流を深めています。また、与謝野町の男性サロングループとの交流を交え、閉じこもりを防ぎ心と体の健康になっていることを再確認しました。



⑤ボランティアリーダー会議

年間のボランティア活動や今後の計画について話し合いました。

開催日	平成30年7月12日 (場所)伊根町老人福祉センター
内 容	ボランティアグループの連携を図り、各グループ活動の資質向上と情報交換に開催しました。(研修会の日程調整、ボランティア交流会の協議等)
参加者	各ボランティアグループの代表者11名



⑥伊根町ボランティア交流会

開催日	平成 30 年 10 月 17 日 (水) (場所)伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	社協に登録しているボランティアの方々がお互いの活動の粋を超えて参加者同士の交流を目的に開催。午前の部は参加しているボランティアの方より活動の報告をしていただきました。また給食ボランティア(リーダーの集まり)「さざんか」に「お弁当」を作っていただく等、活動の場となりました。午後より宗教学者日蓮宗法修山・一心寺 ご住職 藤原信良様より「ボランティアの人生に感謝・これからの人生を健康に」と題してご講演いただきました。
参加者	社協に登録しているボランティア 53 名



⑦登録して活動して頂いているボランティアグループ一覧

(敬称略、順不同)

No.	グ ル ー プ 名	代 表 者	活 動 内 容
1	ひ ま わ り	池 本 弥 生	ふれあい給食サービスづくり活動
2	水 仙 グ ル ー プ	泉 敦 子	ふれあい給食サービスづくり活動
3	花 水 木	矢 野 鈴 江	ふれあい給食サービスづくり活動
4	配 食 グ ル ー プ	池 本 利 徳	社協のお弁当配達と見守り訪問活動
5	喫 茶 グ ル ー プ	須 川 も も 枝	福祉施設内での喫茶店として活動
6	ふ れ あ い サ ロ ン	三 野 千 恵 子	地域の高齢者との生きがい活動
7	男 性 サ ロ ン	田 中 太 市	一人暮らし高齢者男性のサロン活動
8	子 育 て サ ロ ン	上 林 紀 子	幼児と保護者との交流活動
9	ぶ ち と ま と	上 山 範 子	影絵を上映しながら訪問活動
10	民生児童委員協議会	倉 真 由 美	福祉施設への訪問活動と地域サロン
11	野 菊 の 会	涌 田 優 美 子	大正琴グループにて訪問活動
12	み ど り 会	下 垣 松 美	福祉施設への介助ボランティア
13	す み れ の 会	倉 貴 美 代	福祉施設への訪問活動
14	傾 聴 ボ ラ ン テ ィ ア	山 根 朝 子	主に高齢者宅へ訪問し話相手活動

15	さくらの会	芦原サカ江	福祉施設への訪問活動
16	移送サービス	前野耕一	運転手によるボランティア活動
17	くれを会	山田久義	カラオケ同好会として福祉施設訪問
18	うぐいす	上辻みち代	カラオケ同好会として福祉施設訪問
19	かもめ	永野和江	カラオケ同好会として福祉施設訪問
20	ふれあいカフェ	井上美佐子	カフェを利用される方とのふれあい活動

⑧災害ボランティアセンター運営委員会

期 間	平成30年9月26日 参加者23名
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	伊根町災害ボランティアセンター運営委員会委員18名、府災害ボラ2名、事務局3名の参加で開催。7月に発生した集中豪雨災害の報告と平成29年度に行った災害ボランティアセンターの設置運用訓練の報告と、本年度の取組について協議しました。




⑨伊根町災害ボランティアセンター設置運用訓練

期 間	平成30年12月2日(日)午前8時45分から午前11時40分
場 所	伊根町老人福祉センター泊泉苑
参加者	朝妻地区区長会8名、伊根町民生児童委員協議会(11名)、朝妻一般住民14名、災害ボランティアセンター運営委員7名、京都府社協1名、京都府災害ボランティアセンター1名、宮津市社協4名、京丹後市社協4名、与謝野町社協4名、伊根町社協7名
内 容	<p>2日前に襲来した大型台風の豪雨により朝妻川が氾濫し、府道、町道やその周辺地域の民家が浸水被害という想定。伊根町災害対策本部と連携し、被害状況から災害ボランティアセンターを伊根町老人福祉センターにて立ち上げ、現地の情報収集及び外部からのボランティア受付を行いスムーズなニーズ対応が行える訓練を想定して実施。</p> <p>(流れ)</p> <p>①災害ボランティアセンターの機能紹介(デモンストレーション)</p> <p>②「寸劇」にて訪問困りごと(ニーズ)調査を紹介</p> <p>③訓練開始(ボランティア受付、派遣先の調整、資材・送迎班)</p> <p>④訓練終了(非常食を試食しながらグループ班で反省会、全大会で発表)</p> <p><アンケートのまとめ></p> <p>・訓練を実施しておくことは大切な事と思います。・災害ボランティアの流れや、寸劇、仕組みはよい勉強でした。・訓練しているのとしていないのでは大きな違いがあるように思います。・災害にもし見舞われた時のイメージができると感じました。・初めて参加、とても解りやすく参</p>

加できるのではないかと確信しました。・このような訓練を町内で開催してもらい、ボランティア意識を高めていけたらと思います。・事前に災害ボランティア活動が出来る方の登録をされたほうが良いと思います。



⑩宮津青年会議所との災害時における協力体制に関する協定書締結式

期 間	平成 31 年 2 月 18 日
場 所	宮津市福祉センター
内 容	<p>伊根町社会福祉協議会と宮津青年会議所は災害時及び災害対策において、迅速かつ総合的な支援活動等の協力を行うために必要な事項を定める「災害時における協力体制に関する協定書」を締結いたしました。</p> 

4. 福祉の資金貸付

本年度は、生活福祉資金、福祉資金の相談はありましたが貸付はありません。

5.【介護保険事業・障害福祉サービス事業】

①ホームヘルパー研修会

年々多様化する介護課題において事例検討会や介護技術の向上に向けてヘルパー研修会を開催すると共に、福祉関係機関との連携について学びました。



②介護保険事業(訪問介護サービス)

要介護認定の方が在宅生活する上で、介護が必要な方や日常生活にお困りの方へ、ホームヘルパーの派遣を行いました。活動時間や利用者は以下のとおりです。

(介護度別利用者数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護1	7	7	8	7	7	7	6	5	7	8	7	7	83
介護2	11	11	11	10	11	12	13	12	13	13	11	11	139
介護3	4	6	6	5	5	5	5	6	7	8	6	5	68
介護4	3	3	3	4	4	4	3	3	3	4	3	2	39
介護5	4	5	5	4	4	4	2	2	1	1	1	1	34
総合事業	10	10	11	11	9	8	8	8	8	7	7	7	104
合計	39	42	44	41	40	40	37	36	39	41	35	33	467

(月間活動時間)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	78	93	97	93	93	96	102	104	127	116	113	104	1,216
身体生活	34	40	60	56	61	62	60	61	51	64	55	57	661
生活援助	96	88	90	74	64	89	103	93	108	98	99	95	1,097
総合事業	48	51	56	48	43	36	37	36	37	31	29	35	487
合計	256	272	303	271	261	283	302	294	323	309	296	291	3,461

③介護保険事業(訪問入浴サービス)

(利用者実人数 単位:人、利用時間)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	7	7	7	7	7	7	4	3	3	4	4	3	63
時間	78	90	83	81	96	60	50	46	30	33	42	39	728

④障害福祉サービス事業(訪問介護サービス)

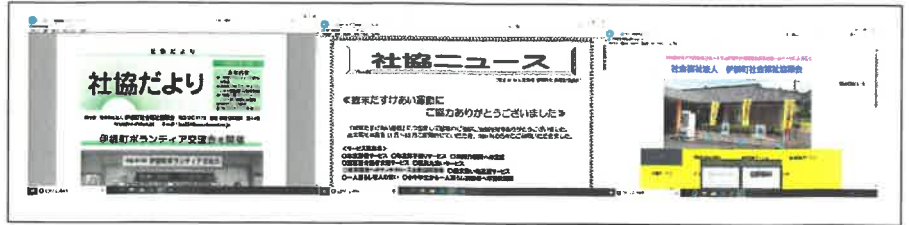
障害者へのホームヘルパー派遣事業は、障害者生活支援センターや聴覚障害センター関係者との連携を密に行い、利用者への派遣計画を作成し、本人の要望に合ったサービスの提供を行いました。

(利用者実人数 単位:人、利用時間)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	6	6	5	5	4	3	5	4	4	5	4	4	55
時間	45	40	54	53	34	31	37	32	35	33	35	79	508

6. 広報活動

- ①社協だよりを発行
- ②社協ニュース発行
- ③歳末たすけあい福祉サービス版
- ④社協ホームページ



7. 【伊根町老人福祉センター「泊泉苑」指定管理事業】

期 間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
内 容	利用しやすい施設運営を目指して、温泉啓発用チラシと幟旗を設置。 施設内の劣化を防ぐため壁紙の修理、フローカーペットの張替え、畳の入替、施設周辺の草刈り、調理室の下水溝の掃除、各部屋の窓ふき等を実施しました。利用の詳細は別紙に掲載。

8. 【宮津・与謝地方社会福祉協議会広域事業】

①宮津与謝地方社会福祉協議会チャリティーゴルフ大会開催

開催日	平成 30 年 10 月 21 日(日)午前 7 時 30 分スタート
場 所	宮津カントリークラブ
内 容	スポーツを通じて地域の社会福祉活動に支援を行っていただきました。
参加者	参加者合計 29 名と少数でしたがチャリティーゴルフ記念大会を開催しました。

②市 2 町丹後ブロック災害ボランティアセンター担当者会議

期 間	平成 30 年 9 月 25 日、11 月 26 日、2 月 14 日 参加者 10 名
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の災害ボランティアの担当者会議を開催。北部の災害が発生した時の対応について協議しました。



9.【その他の福祉活動】

①市町村社協連合会 7月豪雨災害支援

期 間	平成30年7月10日から16日 派遣延べ9名
場 所	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」
内 容	7月6日の豪雨により宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町の北部は川の氾濫により浸水被害を受けました。市町村社協連合会の派遣により被害が大きかった宮津市へ職員派遣を行いました。

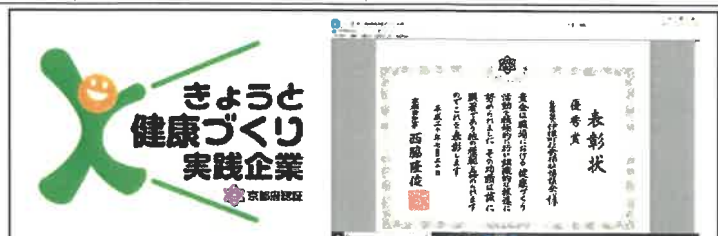


②第67回京都府社会福祉大会

開催日	平成30年9月7日(金) 場所:京都府民総合交流プラザ
表彰内容	<p>①京都府知事表彰 <社会福祉事業従事者> ・和田いそ子 ・藤原公栄</p> <p>②京都府社会福祉協議会長表彰 <特別功労者> ・亀井孝枝 ・三野茂春 ・泉 敏夫</p> <p><事業協力者> ・宮津自家用自動車協会</p>
内 容	

10. きょうと健康づくり実践企業認証制度の推進

期 間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
内 容	京都府が推奨する、「きょうと健康づくり実践企業認証制度」として福祉現場で働く職員に対して労働安全衛生法に基づく健康診断を実施し職員の健康づくりに取り組みました。今年度は「優秀賞」を受賞しました。



【伊根町社会福祉協議会役職員の状況】

【役員状況】

(平成31年3月31日現在)

会 長	上 林 聰	副会長	前野 耕一	副会長	一井 京一
-----	-------	-----	-------	-----	-------

【職員状況】

職 名	氏 名	職 名	氏 名
事務局 長	佐藤 龍平	訪問入浴看護師	濱野 トシ子
総務係 長	奥野 みどり	訪問入浴看護師	谷 水 節子
総務係 主事	井上 健太	訪問入浴看護師	小南 照美
総務係 嘱託	矢野 英子	登録ヘルパー	和田 いそ子
福祉係長・訪問介護員	矢野 智樹	登録ヘルパー	藤原 公栄
福祉係主事・訪問介護員	森下 真美	登録ヘルパー	尾谷 敬子
福祉係嘱託・訪問介護員	八木 真紀	登録ヘルパー	小南 千代乃
権利擁護事業生活支援員 福祉有償運転手	田中 太市	登録ヘルパー	今岡 敏枝
権利擁護事業生活支援員	三野 正巳	登録ヘルパー	平岡 由美子
権利擁護事業生活支援員	難波 壽和	登録ヘルパー	大上 和子
福祉有償運転手	石倉 義昭	登録ヘルパー	白須 康子
福祉有償運転手	前野 耕一	登録ヘルパー	小南 厚子
福祉有償運転手	下垣 哲夫	登録ヘルパー	上岡 正代
福祉有償運転手	太田 巖	登録ヘルパー	三野 咲子

伊根町社会福祉協議会のホームページ <http://ine-shakyo.jp/>

伊根町社会福祉協議会資金収支計算書

(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(B)-(A)	備考
事業活動による収支	収 171 会費収入	1,857,000	1,861,000	4,000	
	入 173 寄附金収入	1,210,000	1,210,000	0	
	174 経常経費補助金収入	17,394,000	17,390,702	△3,298	
	175 助成金収入	101,000	101,500	500	
	176 受託金収入	7,420,000	7,440,500	20,500	
	178 事業収入	1,495,000	1,491,130	△3,870	
	180 介護保険事業収入	18,309,000	18,286,170	△22,830	
	185 障害福祉サービス事業収入	1,648,000	1,639,124	△8,876	
	190 受取利息配当金収入	66,000	61,732	△4,268	
	191 その他の収入	80,000	58,845	△21,155	
	事業活動収入計(1)	49,580,000	49,540,703	△39,297	
	支 111 人件費支出	36,819,000	36,797,265	△21,735	
	112 事業費支出	7,088,000	6,819,246	△268,754	
	113 事務費支出	6,477,000	6,467,821	△9,179	
116 助成金支出	566,000	553,463	△12,537		
117 負担金支出	203,000	202,930	△70		
事業活動支出計(2)	51,153,000	50,840,725	△312,275		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,573,000	△1,300,022	272,978		
施設整備等による収支	収				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支				
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支	収 202 基金積立資産取崩収入	21,900,000	21,650,000	△250,000	
	その他の活動収入計(7)	21,900,000	21,650,000	△250,000	
	支 127 基金積立資産支出	18,710,000	18,710,032	32	
	128 積立資産支出	1,000	82	△918	
	138 その他の活動による支出	1,603,000	1,602,600	△400	
	その他の活動支出計(8)	20,314,000	20,312,714	△1,286	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,586,000	1,337,286	△248,714	
	予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	13,000	37,264	24,264		
前期末支払資金残高(12)	10,089,000	10,089,378	378		
当期末支払資金残高(11)+(12)	10,102,000	10,126,642	24,642		

伊根町社会福祉協議会事業活動計算書

(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収 063 会費収益	1,861,000	1,849,000	12,000	
	益 065 寄附金収益	1,210,000	2,500,000	△1,290,000	
	066 経常経費補助金収益	17,390,702	17,380,684	10,018	
	067 助成金収入	101,500	77,677	23,823	
	068 受託金収益	7,440,500	7,547,558	△107,058	
	070 事業収益	1,491,130	1,424,410	66,720	
	071 介護保険事業収益	18,286,170	15,799,777	2,486,393	
	072 障害福祉サービス事業収益	1,639,124	0	1,639,124	
	サービス活動収益計(1)	49,420,126	46,579,106	2,841,020	
	費 021 人件費	38,399,947	36,775,932	1,624,015	
	022 事業費	6,819,246	7,358,492	△539,246	
	026 助成金費用	553,463	552,697	766	
	027 負担金費用	202,930	158,200	44,730	
	028 減価償却費	905,300	1,119,440	△214,140	
029 国庫補助金等特別積立金取崩額	756,187	△245,250	1,001,437		
031 その他の費用	0	33,460	△33,460		
サービス活動費用計(2)	54,104,894	52,152,318	1,952,576		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△4,684,768	△5,573,212	888,444		
サービス活動外増減の部	収 074 受取利息配当金収益	61,732	50,854	10,878	
	益 076 その他のサービス活動外収益	58,845	62,310	△3,465	
	サービス活動外収益計(4)	120,577	113,164	7,413	
	費				
サービス活動外費用計(5)	0	0	0		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	120,577	113,164	7,413		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△4,564,191	△5,460,048	895,857		
特別増減の部	収 益				
	特別収益計(8)	0	0	0	
	費 035 固定資産売却損・処分損	0	53,646	△53,646	
	特別費用計(9)	0	53,646	△53,646	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	△53,646	53,646		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△4,564,191	△5,513,694	949,503		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	12,086,453	12,734,750	△648,297	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	7,522,262	7,221,056	301,206	
	083 基本金取崩額(14)	0	0	0	
	084 基金取崩額(15)	1,982,457	1,799,977	182,480	
	085 その他積立金取崩額(16)	0	0	0	
	045 退職手当積立基金預け金費用(17)	0	0	0	
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	9,504,719	9,021,033	483,686	

伊根町社会福祉協議会貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
001 流動資産	14,404,282	011 流動負債	4,277,640
01 現金預金	9,350,239	03 その他の未払金	4,202,242
01 現金	50,000	01 未払金	4,202,242
02 預貯金	9,300,239	10 職員預り金	75,398
02 北都(普通預金)	957,511	02 雇用保険	72,858
05 北都(普通預金)	3,308,014	03 所得税	340
06 JA(普通預金)	0	04 町民税	2,200
07 JA(普通預金)	1,133,243		
10 京銀(普通預金)	5,728		
11 信漁(普通預金)	0		
12 郵便(普通預金)	16,438		
13 JA(普通預金)	879,305		
14 信漁(定期預金)	1,000,000		
15 北都(定期預金)	2,000,000		
04 未収金	4,542,043		
05 未収補助金	512,000		
002 固定資産	77,432,574	012 固定負債	24,815,639
001 基本財産	1,000,000	04 退職給付引当金	24,815,639
03 京銀(定期預金)	1,000,000	負債の部合計	29,093,279
002 その他の固定資産	76,432,574	純資産の部	
02 建物	1	013 基本金	1,000,000
05 車輛運搬具	21,090	01 第一号基本金	1,000,000
06 器具及び備品	314,497	014 基金	52,238,858
10 ソフトウェア	0	01 福祉基金	20,105,312
15 退職手当積立基金預け金	23,992,770	02 ボランティア基金	32,133,546
21 退職積立預金	822,869	015 国庫補助金等特別積立金	0
22 福祉基金積立預金	19,147,801	017 次期繰越活動増減差額	9,504,719
01 北都(定期預金)	0	02 (うち当期活動増減差額)	△4,564,191
02 JA(定期預金)	17,500,000		
03 京銀(定期預金)	1,000,000		
04 北都(普通預金)	647,801		
23 ボランティア基金積立預金	32,133,546		
02 JA(定期預金)	383,743		
03 信漁(定期預金)	31,749,803		
04 北都(普通預金)	0		
05 JA(普通預金)	0	純資産の部合計	62,743,577
資産の部合計	91,836,856	負債及び純資産の部合計	91,836,856

監査報告書

令和元年5月21日

社会福祉法人伊根町社会福祉協議会

会長 上林 聡 様

監事 泉 敏夫 

監事 山崎 聡 

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上